

Joyful Voice

Produced by "Personalized Color-Matching Brackets"

No. 30 December 2013

Dr.'s VOICE ● ドクターズボイス

笑顔で矯正と向き合えるように 患者さんをサポートしています

同じ結果を得られるなら
気分よく過ごせるほうがいい

美しい歯ならばとよい噛み合わせは、心も体も健やかにし、人生をよりよくします。矯正治療が目指すこのポジティブさに魅かれて、私は矯正医になりました。治療にあたっては、どの歯をどれだけ動かすのか、設計図をきっちり描く。そして、その明確なゴールに向かって、患者さんとともに進んでいきます。

だから治療をスタートさせた患者さんが「並んできた」「きれいになってきた」と変化を感じ、喜んでくださると本当にうれしいですね。「人前でも笑えるようになった」と笑顔が増えて、治療へのモチベーションが高まる。それは患者さんも私も変わりません。

患者さんには明るい気分で治療を受けてほしいので、その手助けになることは、積極的に取り入れたい。たとえば矯正中の見た目にできるだけ配慮することもその一つです。ほとんどの患者さんは、装置が

いたときの口元の見え方をとても心配します。であれば、同じ治療結果を得られるなら、患者さんが気分よく過ごせる装置のほうがいい。マイナスな気持ちにならずにスタートすることで、歯が並び出したとき、矯正にも他のことにも前向きな力が、早く芽生えると思うのです。

単に治すだけが
医師の役割ではないんです

こうしたことから当クリニックでは、開業時からInVUを使っています。半透明というんでしょうか。色も透明感も歯と同じだから、数あるセ



Dr. Takamasa Sannohe

三戸 天元先生

浦和矯正歯科クリニック 院長

● 埼玉県さいたま市

ラミックブラケットのなかでも、つけたときの美しさが違いますね。

さらにエステティックワイヤーとエステティックリガチャーワイヤーを合わせて、限りなく自然な口元になるようにしています。歯に最もなじむという理由で選んだブラケットなのに、ワイヤーが金属色ではもったいないですから。

ある30代の女性は、治療がスタートしてすぐ「きれいな装置だと友達が褒めてくれました」とうれしそうに言ってくれました。そして、どんどん自分に自信を持つようになっていったのです。

その後、治療が完了した彼女。すっかりきれいになったのに「がっかりした」と言うのです。驚いてわけを聞くと、「装置が外れたのに、誰も何も言ってくれないんですよ。『そういうえは矯正していたんだね』って、みんな外したことに気づいていないんです」と。忘れられてしまうほど、長い治療期間でも装置に着色や変色がなく、きれいなまま過ごせたということでしょうね。

イキイキと輝く患者さんに出会うたび、私の役割は歯ならばと噛み合わせを、ただ治すだけではないと思わされます。患者さんが治療中から自信を持って過ごせるサポートを、ずっと大切にしていきたいです。